



# IEC TC100フランクフルト会議報告

2023年9月4日～9月8日にドイツ・フランクフルトで、IEC (国際電気標準会議) TC100 (AV・マルチメディア、システムおよび機器) Plenary 会議 (総会) および傘下グループの会議が開催され、活発な議論が交わされました。以下では会期中の審議・決議の中から重要な議案について紹介します。



Plenary会議

## TC100概要

IEC TC100 (AV・マルチメディア、システムおよび機器の技術分野に関連する国際標準) : 1995年10月に設立-2004年1月より日本が幹事国を務めており、現在、国際幹事 : 上原まひる氏 (ソニーグループ)、国際副幹事 : 佐久間正剛氏 (東芝)、田中宏典氏 (パナソニックオペレーショナルエクセレンス)、Pメンバー (投票権を持つ国) : 21カ国、Oメンバー (オブザーバーの国) : 26カ国、傘下に11のTA (Technical Area) がある。なお、TC100の受託審議団体はJEITAであり、TC100国内委員会を運営している。

## A. 主な規格化提案

### 1. TC100/WG12 : メタバース

メタバースに関する定義、分類、標準化の観点でのギャップ分析に関するPWIの初稿案のレビューが行われ、TC100の視点でのメタバース定義、分類であることを明確にすることが推奨されました。またWG12の標準化のロードマップが示され、WG12の具体的な標準化項目について、引き続き、議論していくことになりました。

### 2. TA18 : エンドユーザーネットワーク

PNW TS 100-3957では、NP投票中の“Haptics stimuli descriptors” (多種多様なHapticsの諸元表示

として簡単にその内容を把握、分類できる記述仕様) を改めて説明、本会議後投票可決となりCD段階に進むこととなりました。(当初、議論参加国不足もその後の説明で定数揃いました。)

また、メタバースの国内対応組織での議論をもとに、相澤氏 (東京大学) より「Alignment of Heterogenous Data Streams with Video Frames」という新規規格案のコンセプト、ユースケースについてのプレゼンテーションを行いました。プレゼンテーション後の議論の結果、この規格案をTA18で議論していくことが合意されました。

### 3. TA4 : デジタルシステムインターフェース

日本主導によりMT 62889で進められていた、自動車搭載用途向けビデオ信号伝送規格IEC 62889のedition 2への改定は、CDV (投票用委員会原案) の回覧が終了し、フランクフルト会議でCDVコメントの審議・解決、およびFDIS (最終国際規格案) 段階を省略し出版することが承認されました。2023年内の出版が見込まれており、2022年2月のMT (メンテナンスチーム) の設置からおおよそ2年で規格化の完了を迎えました。

## B. 新国際役員

TC100国際幹事に上原まひる氏 (ソニーグループ)、TC100国際副幹事に田中宏典 (パナソニック) が2023年8月より承認されました。



Ulrike Haltrich氏 (国際議長 (左))、上原まひる氏 (国際幹事 (右))

## C. TC100国際役員

現在の傘下TAと日本人国際役員は下記の通りです。

### <現在の傘下TAと日本人国際役員>

- TA1 : 音声・映像・データサービス・コンテンツ用端末  
議長：佐久間正剛(東芝)
- TA2 : 色彩計測および管理  
議長：杉浦博明(三菱電機)
- TA4 : デジタルシステムインタフェース
- TA5 : ケーブルネットワーク  
幹事：田村博夫(ジャパンケーブルキャスト)  
議長：松本卓三(古河電工)
- TA6 : ストレージ  
幹事：中村竜也(キャノン)  
議長：勝尾聡(ソニー)
- TA15 : ワイヤレス給電
- TA16 : AAL(自立生活支援)、アクセシビリティ  
およびユーザーインターフェース
- TA17 : 車載機器、マルチメディアシステムおよび機器  
議長：小出啓介(ソニーセミコンダクタソリューションズ)
- TA18 : エンドユーザーネットワーク  
幹事：小出啓介(ソニーセミコンダクタソリューションズ)  
議長：田中宏和(広島市立大学)
- TA19 : 環境
- TA20 : オーディオ  
幹事：鈴木伸和(ソニー)

## D. 今後の予定

TC100国際幹事より、今後の予定について、下記のような説明がありました。

2024年5月：AG1/AG2会議：シンガポール

## E. 表彰関係

これまでのTC100の活動が評価され小出啓介殿(ソニーグループ)がIEC1906賞および産業技術環境局長表彰、奥田悟崇殿(三菱電機)が産業技術環境局長表彰を受賞しました。



### AV&IT標準化委員会

1) 社数：24社

- 2) 事業概要
- ・マルチメディア(AV&IT)機器・システム分野の標準化推進とIEC/TC100対応
  - ・IEC/TC100規格・ISO規格・JTC1規格の作成、提案、審議 国際会議対応 など
  - ・JEITA規格・JIS規格・国内関連規格の作成、提案、審議 など
  - ・上記分野の標準化方針、ビジョン、基本政策の策定と関連委員会への周知
  - ・傘下の委員会間の課題解決調整、情報交換共有
  - ・委員会、委員会の対外課題への対応と解決調整

3) 関係リンク先

- ・AV&IT標準化委員会 <https://home.jeita.or.jp/cgi-bin/about/detail.cgi?ca=14&ca2=384>
- ・IEC TC100 <https://iec.ch/tc100>